

第五十八回 宗像歌会

平成三十一年一月十九日(土)

題詠『初春』

庭の千両の赤い実
床の間にいけて
家族の新年会
普段ひと気のない家に
21人笑い声満ちる

高原 美智子



かるたして
紙風船遊び
にぎやかな声残し
帰っていく そして
初春も過ぎていく

柴田 のり子



多忙は結構
多難はいやだ
笑ってしゃべって
さらっとやりすこす
そしてまあまあの一年に

一田 千枝子

